

大きな家族

一続きの広場が各家族のリビングなんだ、もちろん個人の生活スペースでもあるんだよ。家族の部屋の下には、家族が集まる空間になっている。

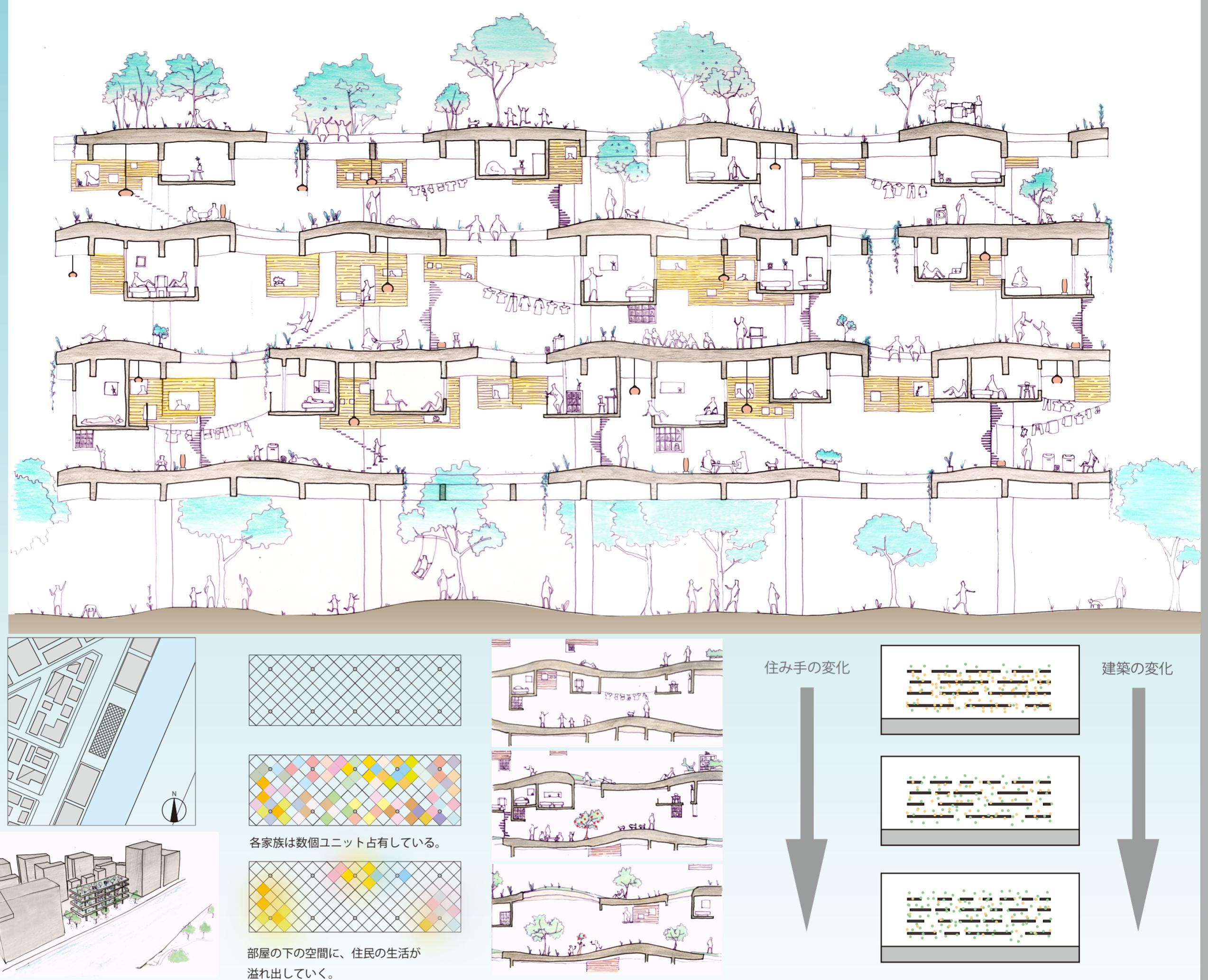
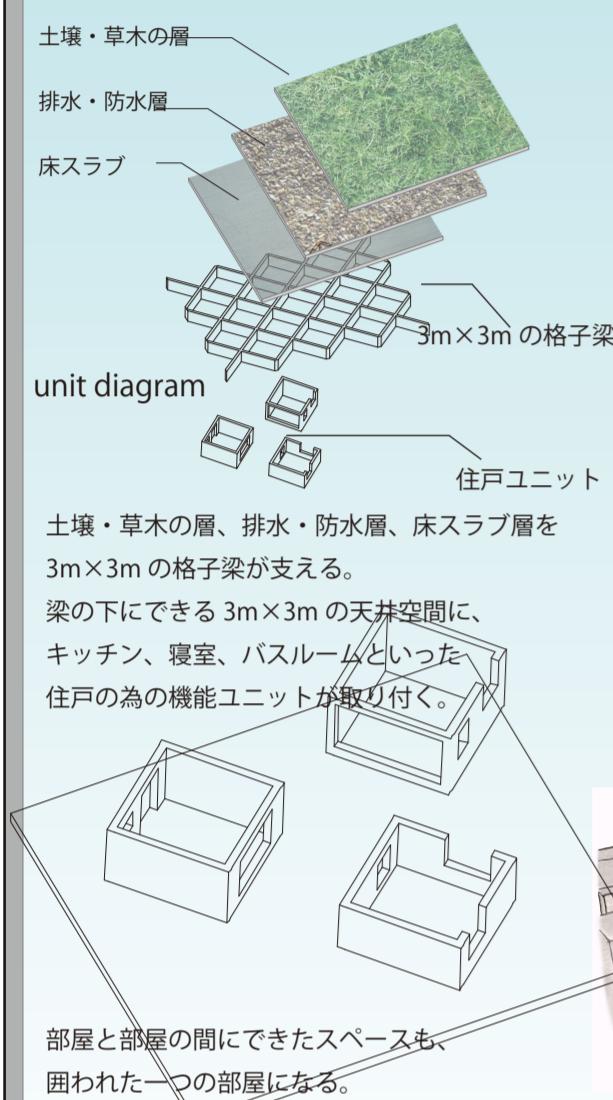
隣の家族もそうだし、一人暮らしの人も自分の部屋の下は自分の好きな様につかう。

リビングが一続きの集合住宅では、家族という枠を自由に捉えることができるみたい。

僕と、右隣の家のお父さんと、左隣の家のおばあさん、それから最近一人暮らしをし始めた学生さんは同じ場所でいつも本を読んでいる。

おっちゃんが仕事で居ないときは僕が飼い犬の世話ををするし、おばあさんがいつも飲む薬は、先週から学生さんが病院に取りに行っているし、僕はおばあさんにいつも紙芝居をしてもらう。僕たちは家族のような関係だ。

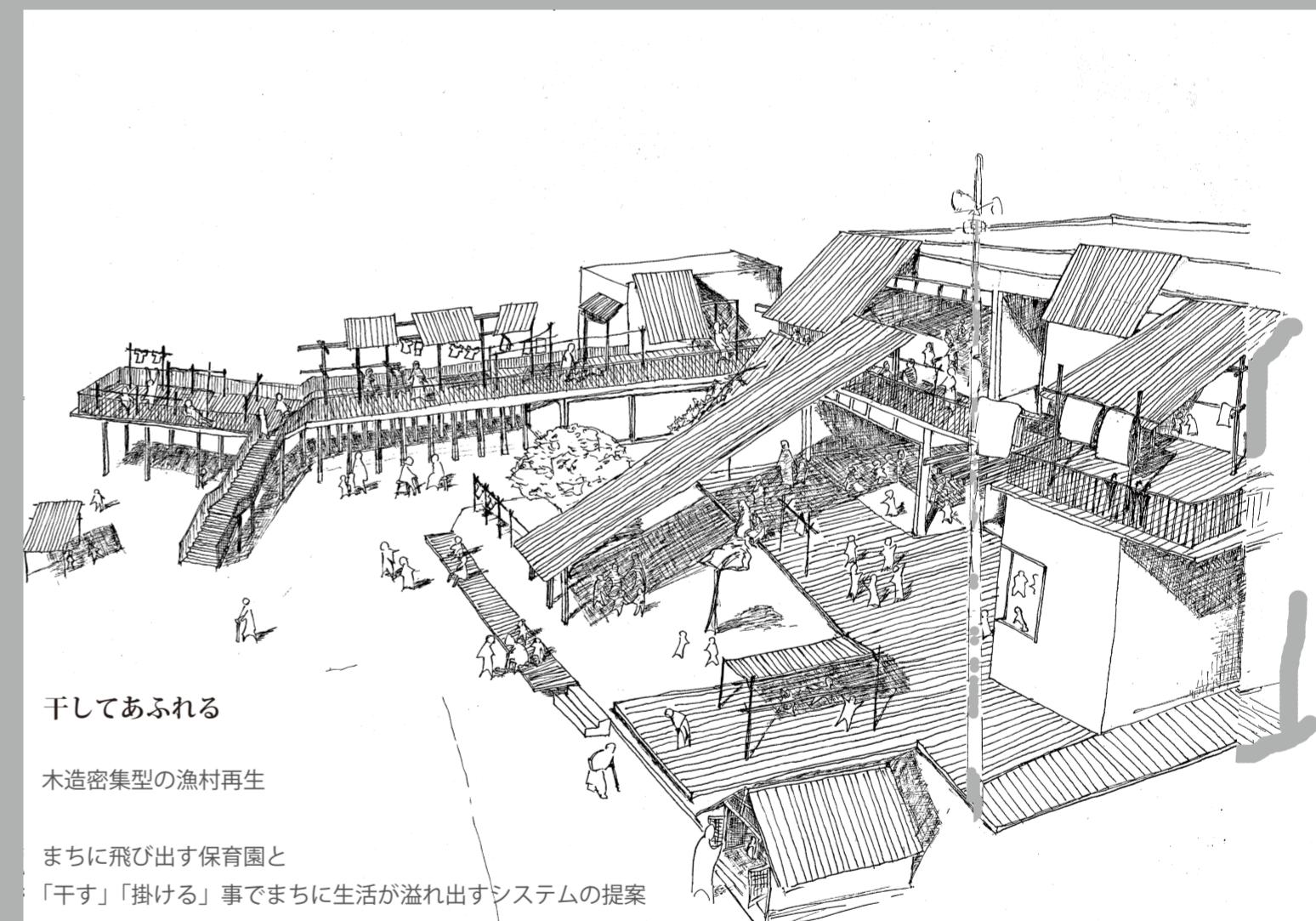
家族のような人はこの集合住宅にたくさんいる。この集合住宅自体が一つの家みたいだね。



第10回 シェルター学生設計競技 2008「木の都市工作物」



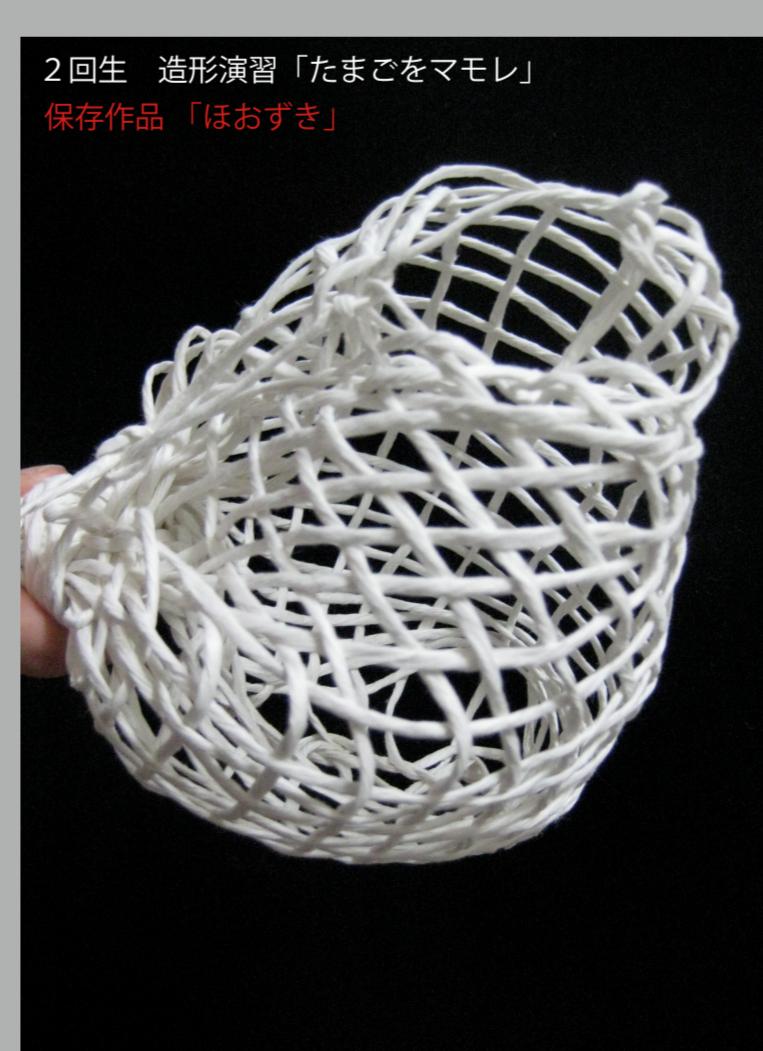
4回生前期 設計課題 発表作品



課外活動 他

研究活動

おじいちゃんのような、おとうさんのような職人さんと交流を重ね、一緒にデザインや技術について議論し「もの」を造る事の面白さ一本の線の重みを知った。



2回生 造形演習「たまごをマモレ」 但在作品「けむぼき」



社交ダンス 冬の全日本大会
全国6位入賞

コミュニケーションを最も重要視するスポーツ。
かけがえのないない300人以上の仲間
を得る事ができた。

地上10mから卵を落とし、割らない為の入れ物
材料一紙のみ
(さらに接着剤も使わない事を自分に課した)